

# INTERFACE

仙台市立仙台青陵中等教育学校  
第4学年 学年通信  
インターフェイス  
第23号 令和6年10月24日

## 「11月進研模試についてのお知らせ」

11月2日(土)は進研模試が実施されます。先日各クラスに掲示しましたが、当日の時刻は以下の通りです。当日は、昼食休憩の時間が短いので、軽食等を持参することをお勧めします。

8:30 ~	出欠確認
8:40 ~ 10:00	国語(80分)
10:10 ~ 11:50	数学(100分)
12:10 ~ 13:30	英語(80分) Listeningあり
13:30 ~	解答配布

※自己採点を家で行い、マナビジョンに入力&自己採点シートに記入し11月5日朝提出

合格ラインについて、一部大学を抜粋し、下表にまとめました。ここからもわかるように、合格ラインの三教科合計点に大きな変化はありません。しかし、注目すべきは、平均点と試験範囲です。合計点はほとんど同じですが、平均点が10点以上下がっています。また、資料では、高一7月から、高二1月までの進研模試数学の範囲をまとめたものです。資料1からもわかるように、**必答問題の範囲が徐々に多くなっていきます。そのため既習範囲の抜け漏れが徐々に拡大していきます。**限定された範囲でしっかりと得点できなければ、今後学年が進んでいくにつれて、抜け漏れの範囲が得点できない状態が続くことが予想されます。逆に言えば、範囲が限定的な高一の進研模試は、特に数学では単元を絞って学習をすることで、努力が結果に表れやすくなります。今からでも、単元を絞って学習することで結果に大きく影響を与えます。しかし、そのような一過性の学力では、受験には立ち向かえません。中期、長期的に自分の学習をコントロールできるようするのが大切です。資料2からもわかるように、**難関大志望は、試験範囲が広くなり、問題のレベルが上がった状態でも、高得点を維持する必要があります。高3までは、60%~70%の得点率をキープすることが重要です。**合格ラインを超えた回数が多いほど、合格率が高まります。高1から高2までの計6回で何回合格ラインを越えるかで、合格率が大きく違ってきます。**合格ラインを上回ったのが、1回だと合格率は48.6%、6回上回ると合格率は、81.9%**です。

表1 進研模試合格ライン 2024 生徒用資料より作成

	東北大・工	東北大・法	東北大・医医	東京科学大・工
1年7月国数英 得点/SS(偏差値) 平均114.6点	191/68.0	183/66.2	223/75.5	192/68.3
1年11月国数英 得点/SS(偏差値) 平均103.2点	192/69.2	184/67.5	226/76.5	193/69.4
1年1月国数英 得点/SS(偏差値) 平均107.7点	202/70.0	195/68.4	232/76.3	198/69.2

数学は、2 学期中間考査が終わるころには、2年1月記述模試の必答科目の範囲はすべて授業が終わっている状態になります。参考書や教科書を通して、分野ごとに基礎を固めていきましょう。

著作権者への配慮から、  
現時点での掲載を差し控えております。

資料1「自ら学びだす生徒」の育成に向けた 指導検討用資料 スライド p.21 より引用

著作権者への配慮から、  
現時点での掲載を差し控えております。

資料2「自ら学びだす生徒」の育成に向けた 指導検討用資料 スライド p.1 より引用

※ 第三者への公開・開示や不当な目的での使用、複写及び複製を禁じます。